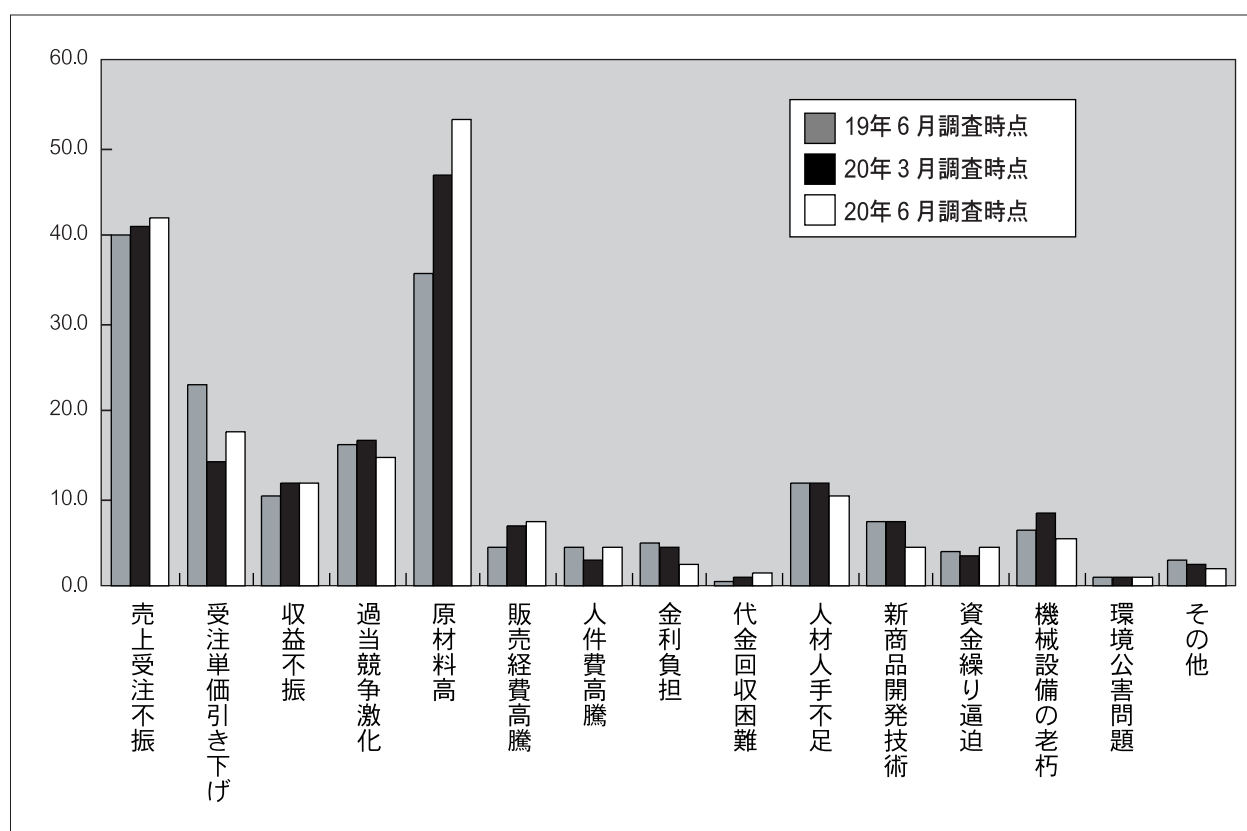


IX. 当面の経営上の問題点

(%:複数回答あり)

	19年6月 (前年)	20年3月 (前回)	20年6月 (今回)	20年6月		前回比増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	40.1	40.8	42.1	(38.0)	(46.0)	1.3
受注単価引き下げ	22.8	14.2	17.4	(21.8)	(13.2)	3.2
収益不振	10.4	11.5	11.7	(8.4)	(14.8)	0.2
過当競争激化	16.1	16.7	14.4	(5.6)	(22.8)	-2.3
原材料高	35.4	46.8	53.0	(64.2)	(42.3)	6.2
販売経費高騰	4.2	6.6	7.1	(3.9)	(10.1)	0.5
人件費高騰	4.2	2.7	4.3	(5.0)	(3.7)	1.6
金利負担	4.7	4.4	2.2	(1.7)	(2.6)	-2.2
代金回収困難	0.7	1.1	1.6	(0.0)	(3.2)	0.5
人材人手不足	11.9	11.5	10.1	(8.9)	(11.1)	-1.4
新商品開発技術	7.4	7.1	4.3	(7.8)	(1.1)	-2.8
資金繰り逼迫	3.7	3.3	4.3	(3.4)	(5.3)	1.0
機械設備の老朽	6.4	8.5	5.4	(6.1)	(4.8)	-3.1
環境公害問題	1.2	1.1	1.1	(1.7)	(0.5)	0.0
その他	2.7	2.2	1.9	(1.7)	(2.1)	-0.3



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①原材料高53.0%(前期比+6.2ポイント)、②売上受注不振42.1%(前期比+1.3ポイント)、③受注単価引下17.4%(前期比+3.2ポイント)の順となっている。
- (2) 今回調査では、原材料高を問題点とする企業が更に増加した結果となっている。製造業では、60%以上の企業が原材料高を当面の経営上の問題点としている。
- (3) これを製造業と非製造業に分けてみると製造業では原材料高64.2%、非製造業は売上受注不振46.0%が最も高いポイントとなっている。非製造業でも原材料高が42.3%でありどの業種でも、原材料高が問題点として、高いポイントとなっている。